

長野・山梨・新潟3県の報告書 のデジタル化について

信州大学附属図書館
石坂憲司

全国遺跡報告総覧シンポジウム
平成28年2月18日(木)

於、国立文化財機構奈良文化財研究所 平城宮跡資料館講堂

0. 3県デジタル化の骨子

- 3県のデジタル化に関わった理由は何か？
- どのように3県のデジタル化を進めたか？
- なぜ3県のデジタル化を達成できたか？

1. 本学のリポジトリ対応

信州大学学術情報オンラインシステムSOAR	
機関リポジトリ	(19.3公開)
研究者総覧	(19.3公開)

- ・ 機関リポジトリと研究者総覧をセットで開始
⇒相互リンク
- ・ 目的は、研究成果の効果的な発信と本学の視認性の向上

1. 本学のリポジトリ対応

信州大学学術情報オンラインシステムSOAR
機関リポジトリ (19.3公開)
研究者総覧 (19.3公開)



遺跡資料リポジトリ/全国遺跡報告総覧

長野県遺跡資料リポジトリ (23.5公開)
山梨県遺跡資料リポジトリ (24.11公開)
全国遺跡報告総覧 (新潟県) (27.9公開)

- ・ 全国遺跡資料リポジトリ/全国遺跡報告総覧に参加
- ・ 日本一と日本初

1. 本学のリポジトリ対応

信州大学学術情報オンラインシステムSOAR
機関リポジトリ (19.3公開)
研究者総覧 (19.3公開)



遺跡資料リポジトリ/全国遺跡報告総覧
長野県遺跡資料リポジトリ (23.5公開)
山梨県遺跡資料リポジトリ (24.11公開)
全国遺跡報告総覧 (新潟県) (27.9公開)



地域共同リポジトリ
信州共同リポジトリ (24.4公開)

- ・ JAIRO Cloudの地域共同リポジトリは日本初

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

1) 長野県遺跡資料リポジトリ



- ・ 日本一のコンテンツ数(2,525件、28.2.15現在)
全国総件数：15,986件のうち、15.8%
- ・ 附属図書館長による、さまざまな広報

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

1) 長野県遺跡資料リポジトリ

なぜ信州大学は遺跡リポジトリに力を入れるか

- 信州大学には考古学を専攻する分野がない
→学生教育のためとするには理由が希薄
- 本学は**地域連携**に力を入れている
→実質日本一の件数
- 大学の生き残り策
→地域に必要とされる大学、地域に必要とされる図書館
(23.11.26 全国遺跡資料リポジトリ・ワークショップ
in 東京 に於ける信州大学笹本附属図書館長講演より)



つながる・しんだい

信大 NOW

SHINDAI NOW



SHINDAI NOW
is the communication bridge
between YOU and
the University.

VOL **97**



日本経済新聞社産業地域研究所「大学の地域貢献度に関する全国調査2015」

大学の地域貢献度ランキング 4年連続総合1位!

「信州大学広報誌「信大NOW」97号 表紙」より引用

大学の地域貢献度ランキング
大学の地域貢献度に関する全国調査2015
4年連続総合1位!

大学の地域貢献度ランキング(下)



4年間で**2,000回**

地域医療で活躍する信州ドクターヘリ松本の出勤回数

長野県内唯一の高度救命救急センターを有する信州大学医学部附属病院は、県内の救急医療機関の要であり、県内に2機あるドクターヘリの基地病院でもあります。2011年10月に運行を開始した信州ドクターヘリ松本は、アルプスに囲まれた山岳地帯には不可欠の機能ということもあり、2015年10月には出勤回数が通算2,000回を越え活躍しています。

地域課題解決の人材**69名**

「地域戦略プロフェッショナル・ゼミ」
2014年度修了生数

地域戦略センターがCOC事業の一環として、2014年度より、地域の課題解決を担う人材の育成プログラムを開講。信州の地域再生や活性化に関心を持つ社会人が中心となって「中山間地域」・「芸術文化」・「環境共生」の3つの「未来学」をテーマで学び、修了いたしました。



年間**1,123件**

公開講座など市民の学びの機会を提供

信州大学の地域貢献を表す特徴ある数字のひとつがこちら。公開講座・出前講座・講演会・シンポジウム・小中高生向け講座・キャンパスを利用したイベントなど、住民の方向け地域貢献事業の数で、その数は毎年1,000件以上に上ります。「市民開放授業」は、今年度は836科目を開放し、のべ311人が受講。アンケートでは「今後も受講したい」と回答した方が9割を超えています。地域に教員が出向く「出前講座」なども人気です。



1
18件

国家的
研究プロジェクト

COI STREAMと
「信州発世界」を象徴する研究拠点
国際科学イノベーションセンター

日本を代表する研究拠点「国際科学イノベーションセンター」には多くの企業・研究機関が入居。この施設の中で、全国で18件採択された国家的研究プロジェクト、文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」のひとつ、世界の水問題を解決する「アクアイノベーション拠点(COI)」が本格的に稼働しています。



308名

金融関係者に産学コーディネータを委嘱

企業ニーズに詳しい銀行など金融機関の職員が信州大学で研修を受け、産学連携コーディネータとして産業界と大学の架け橋となっていただいています。昨年の研修には12機関から総勢308名が参加。中小企業にも大学の研究シーズと企業ニーズのマッチングが推進されています。

2014年度 **973件**

企業・自治体などとの共同研究・受託研究数

2014年度に行った企業・自治体などとの共同研究・受託研究は973件。長野県は「ものづくり県」とも呼ばれるように、地元にとっても343件に上ります。繊維学部と減速機メーカーなどが共同開発した生体動作支援ロボティクスウェア「curara®(クララ)」は、その技術をベースに体内埋め込み型を開発する「歩行アシストサイボーグプロジェクト」が始動しました。医学部や附属病院と企業の共同研究では、手術専用のいすなどが生まれました。(※関連P14「サージカルサポートチェア」)。食品では、信州特産のきのこを使った製品、機能性ヨーグルト「えのきヨーグルト」などが話題です。



現在 **123件** (5年間で**51件**)

企業・自治体などとの連携協定件数

地元企業・自治体などとの連携協定締結数は現在123件。2010～2014年度の5年間の締結件数に限っても51件で、発表された今回調査の平均9.1件(※)を大きく上回っています。写真は、県内33局で構成されるケーブルテレビ協議会との連携協定で開催した、市民向けの地域文化フォーラムの様子。このような団体との連携協定は、他県ではあまりない事例かと思えます。

*出典：日本経済新聞社・産業地域研究所「大学の地域貢献度に関する全国調査2015」

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

1) 長野県遺跡資料リポジトリ

長野県遺跡資料リポジトリの戦略

- ・ 最初から日本一の数をめざす
→注目を浴びなければアピールできない
- ・ 図書館長から県・自治体へ働きかける
→図書館員みんなで、大学のためでなく地域のために
- ・ 大学から自治体へ依頼すると同時に、県教育委員会から自治体へ協力依頼を通知
- ・ 報道に遺跡資料リポジトリを取り上げてもらい、自治体の理解が得られる（出典は前掲より）

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

2) 山梨県遺跡資料リポジトリ



- コンテンツ数(1,040件、28.1.22現在) 全国4位
全国総数：15,920件のうち、6.5%
- 他府県域の運用は日本初
⇒日本一はいつか抜かれるかも。だが日本初は残る。

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

2) 山梨県遺跡資料リポジトリ

- さまざまな地域連携、通常県内まで。他県進出は大きな一歩
- 山梨県教育委員会との連携, **協定書締結** (24.11.30)
⇒調印式
- 山梨県内取りまとめは、山梨県教育委員会
- 当初は、埋蔵文化財センター調査報告書をアップ
- 続いて、市町村レベルの収集とデジタル化
- 山梨県は隣県。山梨県内関係者より本学館長に相談

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

2) 山梨県遺跡資料リポジトリ

<協定書の内容>

目的：

地域の文化財の保護・研究の進行と発展に寄与する

連携・協力事項：

山梨県内の埋蔵文化財発掘調査報告書等を広く公開する

連絡調整：

連携・協力を円滑かつ効果的に推進するため、必要に応じて協議を行う

.....

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

2) 山梨県遺跡資料リポジトリ

- ・ 山梨県庁における調印式 (24.11.30)

- ・ マスコミ報道

24/11/9 山梨日日新聞

24/12/1 山梨日日新聞、産経新聞、信濃毎日新聞

24/12/7 毎日新聞(山梨県版)

24/12/16 朝日新聞(山梨県版)

24/12/26 毎日新聞(長野県版)

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

3) 全国遺跡報告総覧（新潟県）

- ・コンテンツ数(47件、28.1.22現在)
3県の合計3,611件 全国総数の22.7%
- ・新潟県教育委員会との連携,協定書締結（27.3.24）
- ・新潟県内取りまとめは、新潟県教育委員会
⇒“山梨方式”
- ・当初は、埋蔵文化財調査報告書をアップ
- ・続いて、市町村レベルの収集とデジタル化
- ・新潟県は隣県。新潟県内関係者より本学館長に相談

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

4) 各種統計

県名	電子化件数	公開件数	差分
長野県	2,430	2,524	94
山梨県	716	1,040	324
新潟県	0	47	47

電子化件数は、プロジェクト経費（CSI委託事業費、科学研究費）によるもの

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

4) 各種統計

長野県	登録あり	なし(内、 資料あり)	総数
県	3		3
市	19		19
町	21	2(2)	23
村	19	16(12)	35

市は全てカバー。町も殆どカバー

長野県は村が多く、今後の課題

⇒改めて依頼。すぐ冊子が送付され、公開へ

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

4) 各種統計

山梨県	登録あり	なし(内、 資料あり)	総数
県	3		3
市	13		13
町	5	3(3)	8
村	1	5(0)	6

市、村は全てカバー。町が残りわずか

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

4) 各種統計

新潟県	登録あり	なし	総数
県	1		1
市	4	16	20
町	2	4	6
村		4	4

今年度中にもう少し増える予定

2. 遺跡資料リポジトリ/全国 遺跡報告総覧

4) 各種統計

毎日、200件のダウンロード！

県名	年度別統計(上段ダウンロード数/下段アクセス数)						
	2010	2011	2012	2013	2014	2015(4-6)	2015(7-12)
長野県	17	59,730	52,425	74,606	68,808	15,194	33,626
	38	56,895	50,928	107,078	147,484	29,621	45,038
山梨県			3,385	13,825	32,077	6,366	13,170
			2,519	12,835	15,085	4,349	11,708
新潟県							1,293
							1,127

富士山効果？

～2015(6)：遺跡資料リポジトリ（試験公開時の件数を含む）

2015(7)～：全国遺跡報告総覧

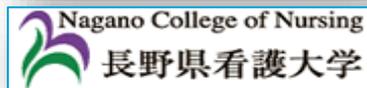
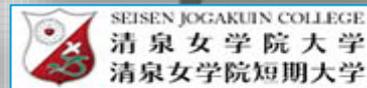
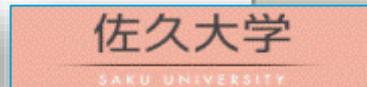
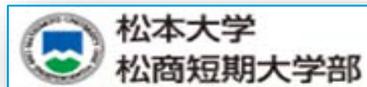
3. 地域共同リポジトリ

信州共同リポジトリ

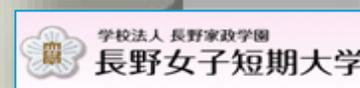
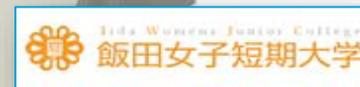
22年度スタート

現在、長野県内15機関が参加
(14機関公開、1機関準備中)

大学



短期大学・高専



ホスト機関

- ・長野県内の高等教育機関からの学術情報発信
- ・長野県内の高等教育・研究成果の視認性向上
- ・大学、短大、高専図書館のコミュニティ生成

3. 地域共同リポジトリ

信州共同リポジトリ

○独自性

- JAIRO Cloudで運用する日本初の地域共同リポジトリ

○自立性

- 各機関の発信力の強化

○永続性のための負荷分散

- 参加機関による構築、運用の経験
- システム維持にかかる費用負担がない（現在のところ）

⇒“遺跡”との類似性も

4. まとめ

- 1件でも多く、報告書を公開
- プロジェクト経費電子化の効果絶大
- 組織内の役割分担
- さまざまな連携による負荷分散

5. 今後について

- 長野県：デジタル化は、かなり進んだ
自治体セルフアーカイブ尊重
- 山梨県：デジタル化は、かなり進んだ
現行スタイルは、当面続行
- 新潟県：デジタル化は、始まったばかり
現行スタイルは、当面続行